

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

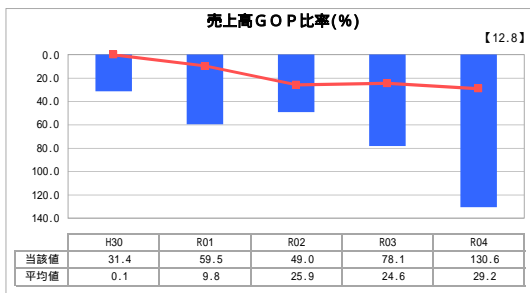
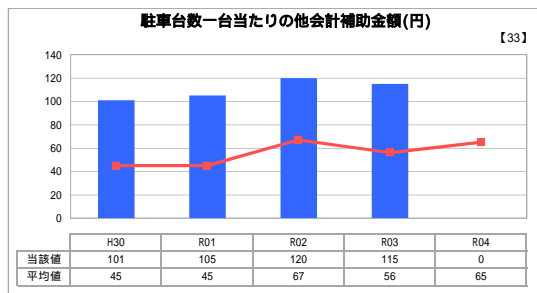
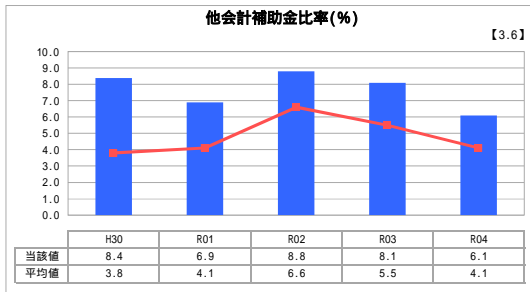
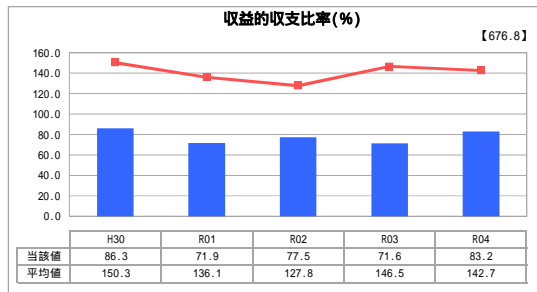
兵庫県神戸市 三宮駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	55	

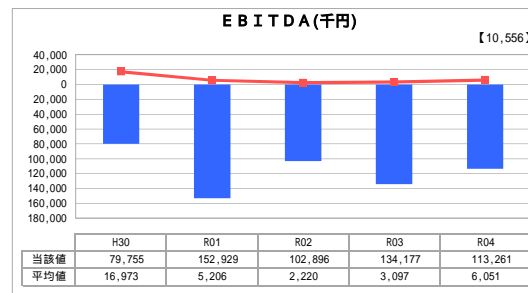
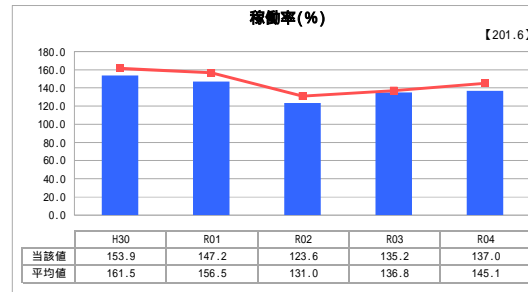
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	25,110
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
525	400	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
■ 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 収益等の状況



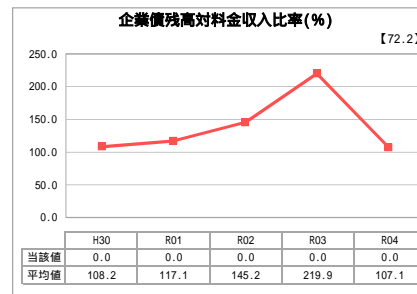
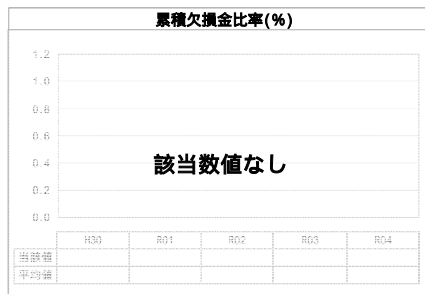
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



敷地の地価(千円)	0
設備投資見込額(千円)	774,451



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 収益的収支比率について、前年度より微増しているが、5年連続で100%を下回った。  
 他会計補助金比率については、R2年度に増加したものの、以降は2年連続で減少した。  
 駐車台数一台当たりの他会計補助金額は初めて0となり一般会計から繰入はない。  
 売上高GOP比率は前年度よりも減少し、EBITDAについても、多少回復傾向にはあるが類似施設の平均値を大きく下回った。

2. 資産等の状況について  
 設備投資見込額について、駐車場の規模が大きいため、供用開始から50年以上経過しているが、昨年度よりは減少した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 企業債残高対料金収入比率は、平成27年度より0である。

3. 利用の状況について  
 稼働率は前年度よりも増加したが、平均を下回った。

全体総括  
 都心部の駐車場であり、市営駐車場事業全体に与える影響は大きい。新型コロナウイルスの影響が軽微となり、事業収益の回復が見られる。令和4年度に自動二輪車の駐車枠を大幅に増設したことから、今後の収益の改善が見込まれる。ただし、設備の老朽化が進んでいることから、引き続き設備投資の見込み額は増加する予定である。都心三宮再整備に伴う周辺土地利用環境の変化も踏まえ、収益の増加及び安定化を目指していく。